

財政状況の公表（平成22年5月公表 平成21年度下半期の財政状況）

平成21年度は、景気後退による地域経済の状況悪化に対応するための経済対策をはじめ、まちづくり、子育て支援、保健福祉の充実など、区民や地域にとって必要な施策を重点に取り組みました。

金額、割合は、表示単位未満で四捨五入しています。このため、収入率、執行率などの数値は、表示されている数値から算出した値とは一致しないことがあります。

各会計の予算執行状況

平成21年度下半期の予算の執行状況は、平成22年3月31日現在、次のとおりです。

各会計の予算執行状況

一般会計および各特別会計の執行状況は次のとおりです。なお、出納整理期間（4月1日～5月31日）の収入額と支出額が反映されていないため、最終的な決算額は異なります。

各会計の予算執行状況					
会計	予算現額 (億円)	収入済額 (億円)	収入率 (%)	支出済額 (億円)	執行率 (%)
一般会計	1,106	956	86.4	901	81.5
用地特別会計	238	154	64.7	160	67.2
国民健康保険事業特別会計	305	271	88.6	275	90.2
老人保健医療特別会計	1	1	99.5	0	24.5
介護保険特別会計	169	156	92.5	153	90.6
後期高齢者医療特別会計	54	49	90.1	49	91.5

一般会計予算の執行状況

平成22年3月31日現在の執行状況は次のとおりです。

一般会計予算執行状況の歳入内訳			
歳入	予算現額(億円)	収入済額(億円)	収入率(%)
特別区税	313	279	89.4
特別区交付金	314	319	101.8
地方消費税交付金・利子割交付金等	50	52	104.6
負担金、使用料及び手数料	28	26	92.4
国・都支出金	195	175	89.5
諸収入	13	11	80.5
特別区債	26	9	34.2
その他	167	85	50.7
歳入合計	1,106	956	86.4

一般会計予算執行状況の歳出内訳			
歳出	予算現額(億円)	支出済額(億円)	執行率(%)
議会費	8	8	93.7
経営費	109	69	62.7
区民生活費	141	131	92.7
子ども家庭費	183	166	91.0
保健福祉費	337	305	90.4
都市整備費	97	59	61.2
教育費	105	95	90.3
公債費	69	68	99.9
その他	57	0	0.0
歳出合計	1,106	901	81.5

補正予算のあらまし（平成21年度下半期）

平成21年度下半期には、社会経済状況などの変化に対応するため、予算の補正を以下のとおり行いました。

10月（平成21年第3回中野区議会定例会）

一般会計

1億4,146万9千円の追加補正を行いました。これは、新型インフルエンザワクチン接種費用の助成経費です。

11月（平成21年第4回中野区議会臨時会）

一般会計

570万9千円の追加補正を行いました。これは、区内在住の離職者などの支援のための臨時相談窓口設置の経費です。

12月（平成21年第4回中野区議会定例会）

一般会計

4億902万8千円の追加補正を行いました。これは、弥生保育園の増築・耐震補強工事の設計、区内介護施設への「働きながら資格を取る介護雇用プログラム」事業委託、警察大学校等跡地の整備などの経費です。

2月（平成22年第1回中野区議会定例会）

事業規模の変更などの伴い、各会計の予算を補正しました。

一般会計

6億2,133万5千円の減額補正を行いました。歳入では特別区交付金等の各種交付金と基金繰入金を減額し、歳出では事業規模の変更に伴う減額をするとともに、子ども手当システム開発や生活保護、東中野駅前広場の工事などの経費を追加しました。

用地特別会計

43億1764万8千円の減額補正を行いました。

国民健康保険事業特別会計

19億5,772万2千円の減額補正を行いました。

老人保健医療特別会計

1億5,283万7千円の減額補正を行いました。

後期高齢者医療特別会計

1,965万9千円の追加補正を行いました。

介護保険特別会計

3億7,322万円の減額補正を行いました。

平成22年度当初予算の補正

平成22年第1回中野区議会定例会において、子ども手当支給に要する経費として、28億4,800万4千円の追加補正を行いました。

区債・一時借入金・基金・区の財産の状況

区債の状況

将来にわたり区の財産となる土地の買入れや公共施設の建設などの財源として発行するものです。いわゆる借金のことで、発行にあたっては、将来の財政負担が過大とならないよう注意が必要です。

区債の状況	平成22年3月末 現在高(億円)	平成21年9月末 現在高(億円)
総務債(土地の取得、庁舎の整備など)	57	60
民生債(社会福祉施設の建設など)	83	88
都市整備債(橋りょう・公園の整備など)	79	89
教育債(小・中学校や社会教育施設の整備など)	31	34
減税補てん債(住民税減税に伴う減収分の補てん)	101	107
その他(区民施設の建設、まちづくりなど)	171	37
合計	522	415

一時借入金

区民税などの収入時期と経費の支出時期のずれなどから、一時的に支払いに必要な資金が不足することがあります。このとき、予定されている収入ですみやかに返済することを条件に、金融機関などから借り入れる資金を一時借入金といいます。

平成21年度下半期には、一時借入金はありませんでした。

基金

基金には、年度間の財政調整を図るための財政調整基金、将来の特別区債の償還に備えるための減債基金のほか、特定の目的のために積み立てるもの、その利子で事業を行うものなどがあります。条例により設置されている、いわゆる区の貯金です。

基金の種類、目的と3月末の現在高は次のとおりです。

基金の種類	設置目的	平成22年3月末現在高(億円)
財政調整基金	年度間の財源の調整	203
減債基金	特別区債の償還財源確保	68
中野刑務所跡地防災公園建設基金	中野刑務所跡地の防災公園建設	10
社会福祉施設整備基金	社会福祉施設の整備・建設	8
義務教育施設整備基金	義務教育施設の整備・建設	79
平和基金	平和事業に要する財源確保	1
災害対策基金	大規模災害時における被災者の救援等	3
区営住宅整備基金	区営住宅の整備	7
介護給付費準備基金	介護保険給付費の次年度以降の財源確保	16
道路・公園整備基金	道路・公園の整備に要する財源確保	4
まちづくり基金	総合的なまちづくりに要する財源確保	16
区民公益活動推進基金	区民公益活動に必要な資金の助成の財源確保	0 (102万円)
介護従事者処遇改善臨時特例基金	介護従事者処遇改善のための介護報酬改定による保険料への影響を抑制	2
合計		417

区の財産

いろいろな事業を実施していくためには、道路、公園などの事業用地や庁舎などが必要です。区ではこうした土地建物のほか物品などの財産を保有しています。これらの財産については、常にその適正な管理に努めています。なお、50万円以上の重要な物品については、特別整理備品として管理しています。

3月末現在の保有高は、次のとおりです。

財産の種類	平成22年3月末現在	平成21年9月末
土地	100万4,412.67平方メートル	99万746.58平方メートル
建物	50万525.01平方メートル	50万525.01平方メートル
備品(50万円以上)	2,257点	2,267点

区民のみなさんの区税負担

みなさんに納めていただく特別区民税の区民1人あたり、1世帯あたりの負担額は次のとおりとなります。

・1人あたり 95,498円(昨年3月末は96,414円)

・1世帯あたり 160,986円(昨年3月末は163,173円)

平成22年4月1日現在 人口 312,589人、世帯 185,430世帯で算出(外国人登録者数・世帯含む)